

教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

評価の観点

【評価の観点】

- 実際のコミュニケーションにおいて、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを活用できる技能を身につけている。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、外国語で簡単な情報や考えなどを理解し、活用して表現したり伝え合ったりすることができる。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いて、コミュニケーションを粘り強く行おうとしている。

【評価の方法】

- 定期試験、小テストによる評価
- ノートやワーク、課題プリントによる評価
- パフォーマンステスト(英会話)による評価
- 授業中の観察による評価
- 生徒自身による自己評価

特色ある学習方法

- 授業形態に変化をつけ、生徒一人一人の学習意欲を高めるとともに、学習内容の確実な定着を図る。
- ALT の生きた英語に触れる機会を多くし、常に実践的な言語の使用場面を想定して指導することで、実践的コミュニケーション能力の育成につなげる。
- 視覚的教材を利用し、理解を深めさせる。

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・受け身の文の形、意味、用法を理解し、表現する。 ・現在完了形の意味、用法を理解し、表現する。 ・不定詞を扱った分の意味と用法を理解し、表現する ・既習表現を用いて自己表現をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 受け身形の使い方を理解して、身の回りのことを表現することができる。 ・現在完了形が表す「時」についての表現を用いて、自分自身について自己表現できる。 ・ALTとの対話を重ねて、英語によるプレゼンテーションに慣れる。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・間接疑問文の形、意味、用法を理解し、表現する。 ・現在分詞、過去分詞による後置修飾の文構造を理解し、表現する。 ・関係代名詞による後置修飾の文構造を理解し、表現する。 ・既習表現を用いて自己表現をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞で始まる従属節を伴う文を用いて身の回りのことを簡単に表現する。 ・英語の文構造についての理解を深める。 ・後置修飾によって、英語は説明を付け足していく文構造であることを理解して、自分自身のことや、身の回りのことについて表現できる。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法について学び、正しい時制を用いて表現する。 ・3年間の英語学習のまとめを行う。 ・既習表現を用いて自己表現をする。 ・長文読解練習等、様々な英文を理解する活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学年で既習である、if を代表とする仮定を述べる表現に慣れる。 また、実現が可能かそうでないかによる、動詞の時制についての理解を深める。 ・入学試験も見据えて、様々な問題練習を行う。